

12/16 朝日

## 防衛に復興税 首相は説明が先だ

無職

(神奈川県)

76

政府・与党が、防衛費増額の財源として、東日本大震災の復興予算に使われている「復興特別所得税」の一部を転用する案を検討しているとの報道に接して、驚き、あきれた。

「復興特別所得税」は震災復興の財源として、2037年まで所得税に2・1%を上乗せした特別な税で、閣僚などからも首相に異論や不満がある。紛れもなく国民に課せられている税金だが、この期間を14年延長する案が出ている。税率を1%程度引き下げ、下がった分を防衛財源にあてる案を検討しているところ。

大震災の復興はまだまだだ。そののが先だわ。

使い方を変更するわけだから、被災地住民・国民の声を聞くと共に国会で十分に審議する必要がある。

「防衛費の中身を説明する前に増税というのは順番が違う」と自衛隊出身の自民党の佐藤正久氏が語った。そうだが、岸田文雄首相が防衛費増額として増税を表明して以降、閣僚などからも首相に異論や不満がある。続く。党内議論もなく首相が増税を言ったと指摘する声もあるという。首相は防衛費増額を語る前に、防衛力強化の必要性とその内容を国民に分かりやすく説明し、理解を得る